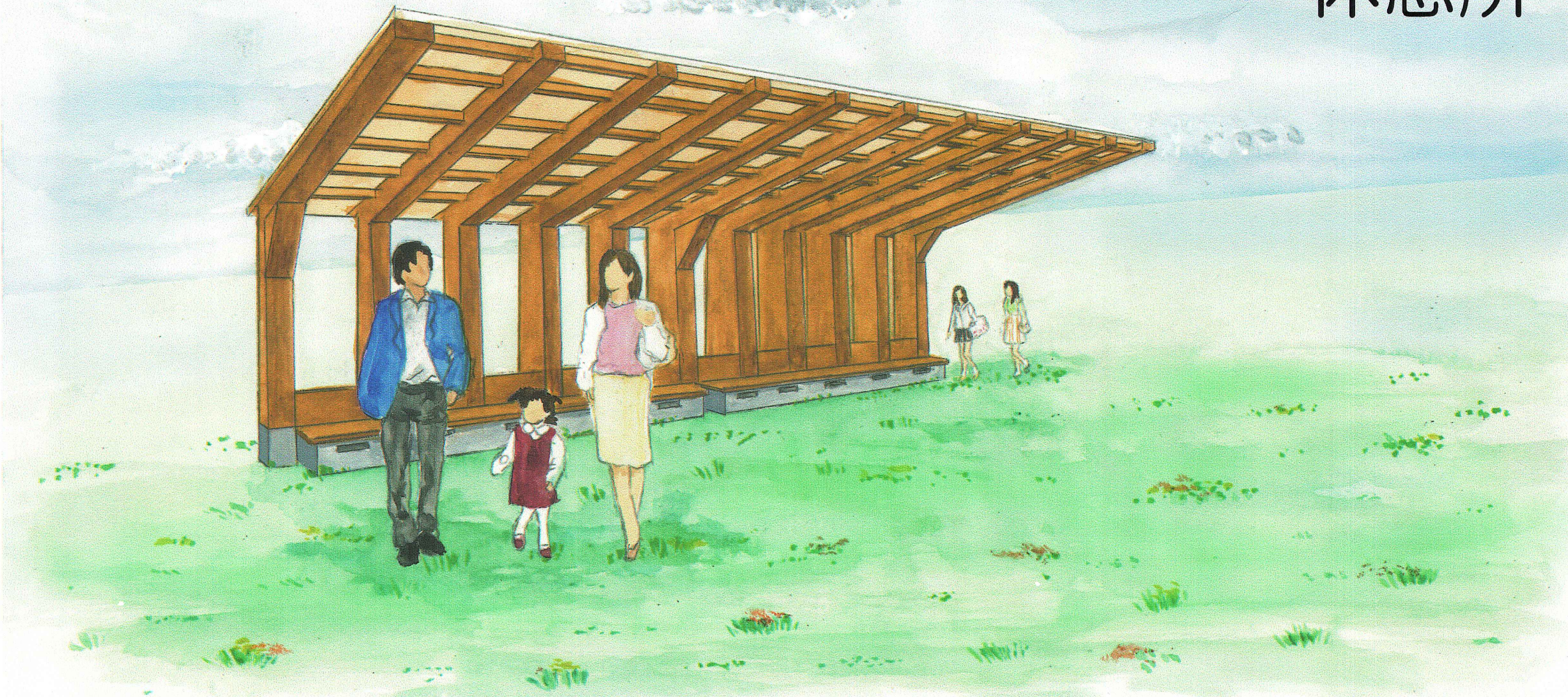


環境・人・にぎわいの 休憩所



●設計趣旨●

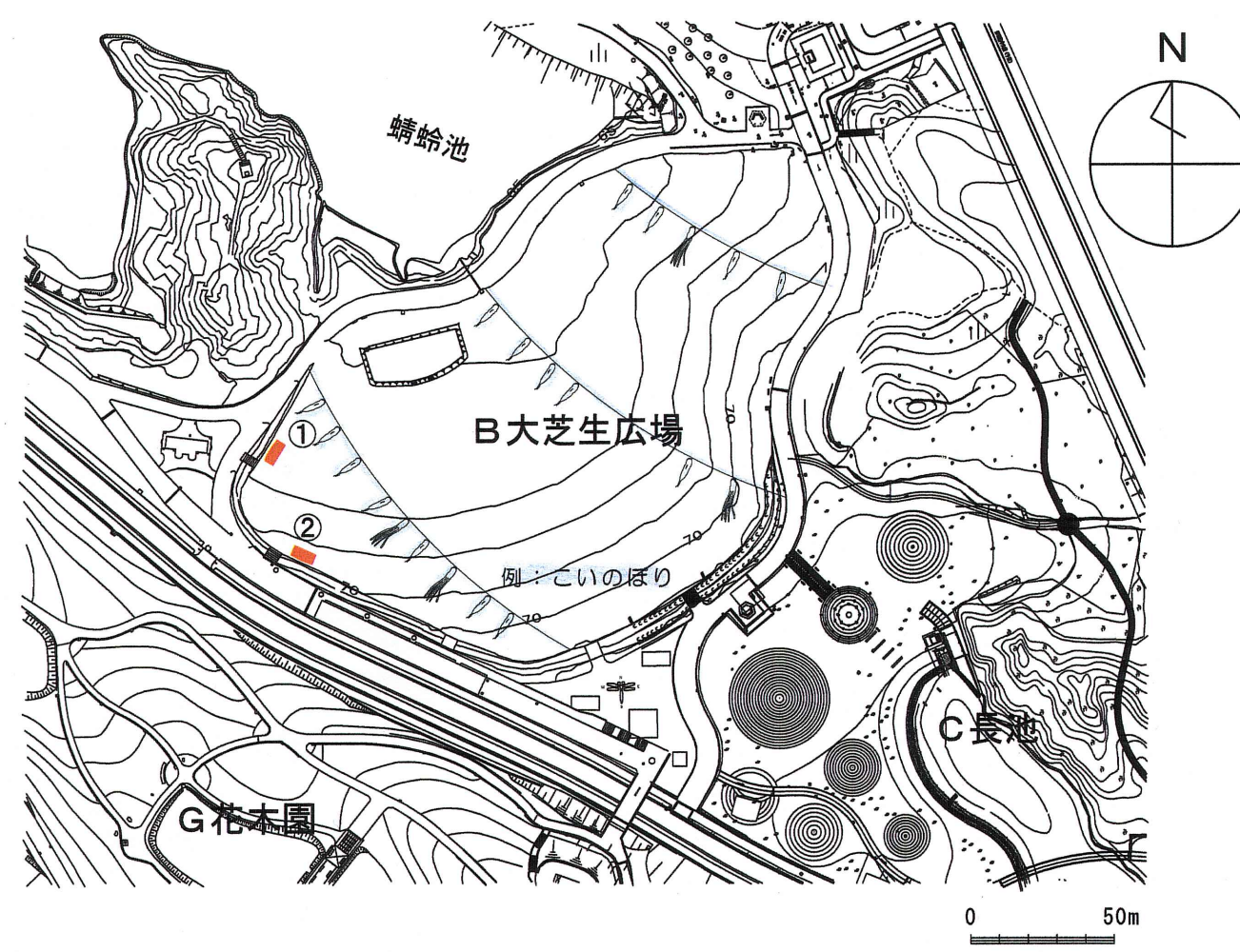
近年、我が国でも運用が始まったSDGs。持続可能な開発目標として、様々な分野での取り組み目標として設定されています。地球規模で進む温暖化なども視野に入れられ、環境に配慮しつつ人々が有意義に暮らしていける社会を作っていく指針になっていると考えています。今回、この取り組みを視野に入れ、利用者の方々が賑わいを感じつつ、地域環境、景観を守りながら楽しく利用できる公園・休憩所にしたいと考えました。

- ・持続可能な建築材料として、見直されている「木材」（できれば地域産材）を利用する。
- ・公園全体を含め敷地の空間も広いため、印象的でありつつもすっきりとしたデザインとし、木質の温かみも感じられるよう考慮した。
- ・広場で休憩ができると同時に近隣からの動線も考え、階段近くに配置した。
- ・柱で囲わないため、座った際に視界を遮らず、より広さを感じることが出来る。
- ・ベンチ奥には地中熱を利用した換気システム（GEOパワーシステム等）を導入し、夏場の暑さや冬場の寒さを多少なりとも軽減させる。
- ・夏場にミストが必要な場合やイベント時に利用できるよう屋外コンセントを設置した。
- ・②棟から蜻蛉池が見渡せるよう、池付近を伐採整備し、広場との一体感を出す。
- ・ろ過設備などを設置すれば、池の水を災害時にトイレ等に利用できると考える。

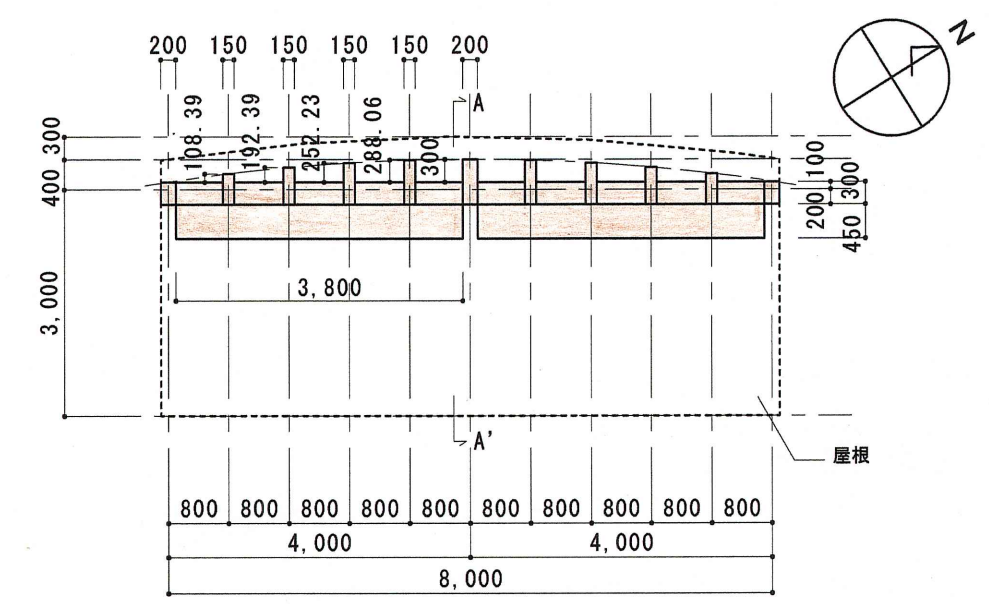
●にぎわい創出・活性化●

ワークショップを開設し、イベントの受付や拠点として利用する。

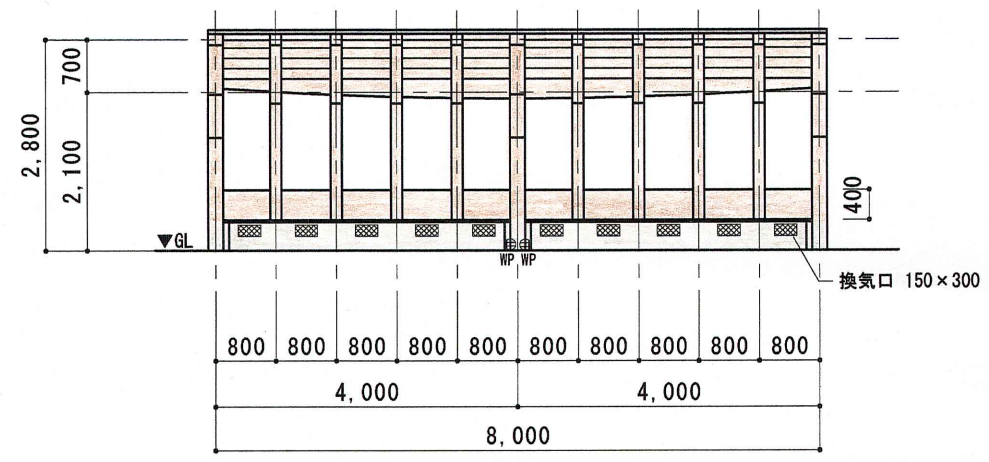
- ・公園内に生育する植物や昆虫、飛来する鳥類等を観察や紹介を行うと共に、園内で生き物を探して回るオリエンテーリングを行う。
- ・防災の意識を高めるための避難訓練や避難生活体験を行う教室。
- ・近年では伝統的な遊びや季節の催しを体感できる場が少ないので、竹馬や竹とんぼ、凧揚げ等の製作体験を行えば、多くの世代が交流できるきっかけの場になるのではないかと考えられる。
- ・季節の装飾（地域で使わなくなったこいのぼりや、七夕飾りなど）
- ・催し物で利用する材料は、公園内で出た間伐材（木材や竹材）を利用する。



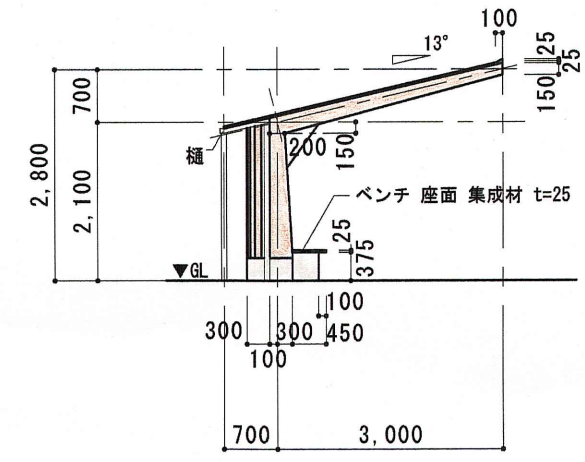
配置図 S=1:2500



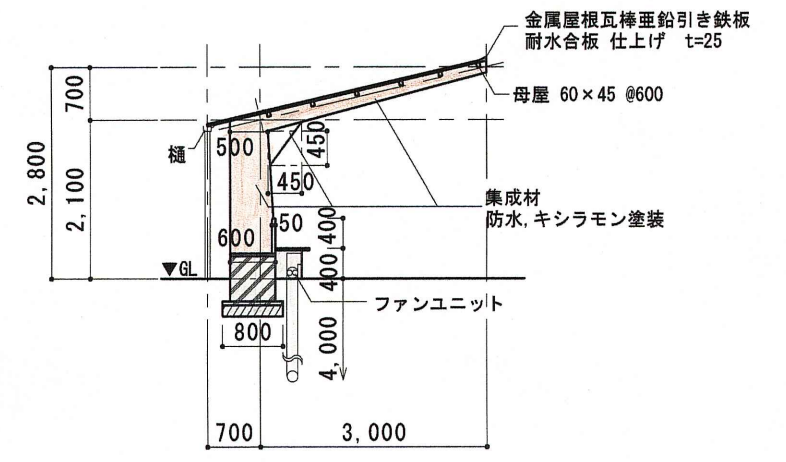
①棟 平面図 S=1:100



①棟 東立面図 S=1:100



①棟 南立面図 S=1:100



①棟 A-A'断面図 S=1:100



建築概要	
建築面積	8.2 × 3.4 + 1.61 = 29.49㎡
延べ面積	29.49㎡ × 2棟 = 58.98㎡
用途	休憩所
構造	木造 大規模集成材 キシラデコール 塗装 仕上げ
基礎	布基礎
仕上げ	屋根 金属屋根 瓦棒 亜鉛引き鉄板 耐水合板 仕上げ t=25

※①、②棟共、同じ建物とし、広場中央に向けて配置する。